

（ほ）うこん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2022年11月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <https://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・川喜田尚

Gメンバー不正問題 「中間報告書」に規約改定承認

— 9月理事会報告 —

2022年9月27日、9月理事会をZoomミーティングにて開催した。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 鈴木委員長

・8月18日に会議室を借りてリアル開催した。

・「GALAC」11月号特集は「Z世代とシニア世代」。放送業界が特にターゲットインクに腐心する二つの世代について、改めて検証した。表紙は磯村勇斗さん、ザ・パインは西井敏恭さん。

・12月号の特集は「メディアアリティのあり方について、受け手の視点だけでなく、特に送り手側の視点も含めて考察することとした。表紙は津田健次郎さん、ザ・パインは鈴木エイトさん。

◇選奨事業委員会

事務局よりギャラクシー賞贈賞式決算の報告を受けた。

〈テレビ部門〉古川委員長

・7月29日にZoomにて月評会を開催した。月間賞には、NHKスペシャル「鯨獲りの海」(NHK)、アメトーーク！「ダチヨウ倶楽部を考えようSP」(テレビ朝日)、「LOVE LOVE あいしてる 最終回・吉田拓郎卒業SP」(フジテレビ)、報道1930「激震・旧統一教会と日本政治 問われる政治との距離感」(BS1TBSレビ)の4本を選出した。

・8月29日にZoomにて月評会を開催した。月間賞には、土曜ドラマ「空白を満たしなさい」(NHK)、NOWARプロジェクトつなぐ、つながるSP「戦争と嘘

「フエイク」(TBS)、NHKスペシャル「ビルマ 絶望の戦場」(NHK)、プレミアムドラマ「拾われた男」(NHK)の4本を選出した。

〈ラジオ部門〉桜井委員長

・8月19日にZoomにて定例会を開催した。「戦後77年を伝える番組」をテーマに、「ヒロシマ・クライシス〜私は伝え続ける〜」(中国放送)、「長崎原爆の日ラジオ特集2022 私の人生 いま伝える96年の記憶」(NHKラジオ第1)、「特別番組「文化放送戦後77年スペシャル明日を待つ子供たち」(文化放送)、特別番組「THE INTERVIEW」2022年、戦後77年。戦争を考える〜」(ふくしまFM)を聴取し議論を交わした。

・9月13日にZoomにて定例会を開催した。「在京ラジオ4月スタートの朝の生ワイド新番組聴き比べ」をテーマに、「パンサー向井の#ふらっと」(TBSラジオ)、「おとなりさん」(文化放送)を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉家田委員長

・8月22日にZoomにて定例会を開催し、28作品のCMを視聴した。イエローハット・ピザハット・リンガーハット合同「首脳会談」、日本マクドナルド「ピクルスのリレー」、ヨギボー「アドマイヤジャパン」、サントリー天然水「ENDLESSSDAWN」などが注目を浴びた。
〈報道活動部門〉 茅原委員長
・選考会はハイブリット方式で開催する予定。

◇企画事業委員会 水島委員長

・9月6日にZoomにて委員会を開催した。2023年1月末から2月中旬の開催を目指して、ウェビナー企画の内容を検討した。

◇広報委員会 滝野委員長

・8月25日、9月20日にZoomにて委員会を開催した。

8月8日にYouTube「ギャラクシー賞受賞者の声 草薨剛さん」動画掲載終了。再生回数は1万2000回以上。

・8月9日にHP「オリジナルコンテンツ」〔座談会〕2022年夏ドラマを語る!〕を掲載した。
・Gメンバーサイト関連の報告は下記の通り。

9月24日 サーバー移転。

10月11日12時 新サイトオープン予定。

再登録開始(11月10日)。

11月1日 新規会員受付開始予定。

・Gメンバー不正入会、クレジットカード不正使用問題について

7月25日、8月16日 Gメンバー不正問題調査検討プロジェクト開催。不正者洗い出しの調査結果報告、マイベストTV賞グランプリ投票有効者の確定および投票結果の共有。報告書の内容検討。新サイトの既存メンバー登録方法について報告を行った。

9月6日 常務理事会にて「Gメンバー不正問題中間報告書」「Gメンバー会員規約改定案」「不正登録者会員登録抹消メール」が内容確認のうえ承認された。

20日 不正登録者1万5265名に「Gメンバー会員登録抹消のお知らせ」メール送信。

28日 会員規約改定版掲載予定。
30日 調査結果公表予定。

2. 定款認証、細則変更の件

・定款認証

第18回通常総会において議決された定款の変更について、9月7日付で東京都から定款認証完了の文書が交付され、変更手続きが完了したことを報告した。

・定款細則変更

定款の変更で、会の事業年度が毎年1月

1日から12月31日までとなったことから、細則第8条(委員長、副委員長、委員の任期)に、ギャラクシー賞の選考・贈賞にかかわる委員の任期に弾力性を持たせる条文を加筆。これを承認した。

3. Gメンバー不正問題の件

・「Gメンバー不正問題中間報告書」「Gメンバー会員規約改定案」が提出され、事務局より詳細な報告を受け承認された。

4. 60周年記念賞の件

・第60回ギャラクシー賞贈賞式は、2023年5月31日(水)に開催予定。

・藤田専務理事が60周年記念賞、フロンティア賞推薦および選考方法の文書を提出、承認された。

【出席】音好宏、川喜田尚、藤田真文、出田幸彦、桜井聖子、鈴木健司、古川柳子、家田利一、茅原良平、水島宏明、滝野俊一、市村元、奥律哉、風間恵美子、五井千鶴子、小林毅、長井展光、仲宇佐ゆり、松山珠美、中島好登

今後の理事会

10月27日(木)、11月25日(金)

30日	(選奨) テレビ月評会
27日	理事会
26日	出版編集委員会
22日	(選奨) CM定例部会
20日	広報委員会
13日	(選奨) ラジオ定例部会
6日	企画事業委員会 常務理事会
[9月]
29日	(選奨) テレビ月評会
25日	広報委員会
22日	(選奨) CM定例部会
19日	(選奨) ラジオ定例部会
18日	出版編集委員会
3日	企画事業委員会
[8月]

「第16回マイベストTV賞グランプリ」の結果についてのお知らせ

すでに6月1日にお伝えしています通り、放送批評懇談会の「オンライン会員（Gメンバー）」登録（入会）に際して、「偽名、住所虚偽などの不正」や「会費決済におけるクレジットカード不正利用の被害報告」がありました。「第16回マイベストTV賞グランプリ」について、緊急避難的に不正疑い者の投票への影響を減じる措置を取ったうえで集計し、発表しましたが、その後、会として会員規約に準じ、「明らかに不適切な会員登録があったもの（虚偽記載）」や「明らかに不適切なクレジットカード利用があったもの（同一カードで10回以上登録手続き決済を行っているなどの行為を認定）」を、「不正疑い」がある会員として、第16回の同賞への投票権がない者と判断することにいたしました。上記の基準に従い、投票の再集計を実施、改めてグランプリ順位を公表することといたしました。

1	ドラマ特区「美しい彼」	276票
2	オシドラサタデー「消えた初恋」	235票
3	大豆田とわ子と三人の元夫	147票
4	大河ドラマ「青天を衝け」	124票
5	金曜ナイトドラマ「愛しい嘘～優しい闇～」	111票
6	水ドラ25「ダメな男じゃダメですか？」	108票
7	よるドラ「恋せぬふたり」	99票
8	金曜ドラマ「最愛」	91票
9	連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」	81票
10	土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」	78票

(有効投票者数1160名)

なお、順位の1位から3位については、結果的にはすでに発表したものと変更はありませんでした。この間、関係各位にはご心配をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、多くの市民・視聴者とともに放送批評活動をさらに発展させていく所存でありますので、より一層のお力添えとご理解をいただきたく存じます。

2022年9月30日
NPO法人放送批評懇談会 理事長 音好宏

未来を見(聴き)通すために

真銅健嗣

放送局でラジオドラマ班のデスク(世話役)や番組制作に20年以上携わってきました。デスク時代には志賀信夫さまとご縁をいただき、またギャラクシー賞出品の窓口としても大変お世話になってきた放送批評懇談会さま。私にとっていわば総本舗のようにドーンと存在する場所に、この度ラジオ委員として関わらせていただくことになりました。身の引き締まる思いと、よく見知った総本舗へ初めて門をくぐるような、ワクワクする気持ちが相まっています。私が初めてラジオドラマを演出した頃は、テレビ全盛時でラジオは風前の灯火のような雰囲気がありましたが、今はネットの時代。音声だけで伝えることができるラジオ番組は、求められ方が変わってきているように思います。そんな、「古いように新しい」ラジオの未来を、見通す(いえ、聴き通す)ことができ、皆様と共有していけるならば、とても嬉しいことと思っております。よろしく願います。

新入正会員自己紹介

掛算キャリアで何かを生み出す!

服部洋之

昭和63年、名古屋の民放から仕事が始まりました。報道局のディレクターとして情報番組やドキュメンタリー等を制作。その後、東京で番組制作プロダクションや衛星放送の会社等に勤務、制作・編成・デジタル商品開発・経営等を担当しました。今年6月、57歳で「勝手に早期退職」し、34年の会社員人生を卒業いたしました。

現在は個人事業主として、映像メディアに関するお仕事傍ら、「トータル・コンディショナー」として太極拳師範・整体師・健康リズムカウンセラー等を総合的に駆使し、ストレスフルなビジネスマンやアーティストの心と体を面倒みる仕事も本格的に開始。

加えて専攻の地理学も駆使して地域創生などにも手を出そうと企んでいます。

「メディア+気功+地域」の掛算キャリアで人々を幸せに!
どうぞよろしく願います。

新入正会員自己紹介

名古屋で見るテレビとは

平岩潤

名古屋の地上波テレビに1983年入社。最初はニュースのカメラマン、退社時は監査役でした。報道が長い一方、営業やIT、関連会社の総務や経営等、経験は雑多です。

番組や報道への関心は強くありませんが、放送の制度や仕組みを度外視した意見や批評には、素直に頷けずにいました。また、東京発のテレビ論には、名古屋では大変刺激を受けましたが、時に眩し過ぎ、時に違和感があったのも正直なところでした。

今、「戦争体験の語り継ぎ」をお手伝いしています。若い世代が実際の体験者に取材して語り継ぐのですが、皆が悩むのは「どこまで自分の視点や意見を入れて良いのか」です。私の意見は「どんどん入れてこそ、聞き手の世代に伝わる」ですが、異論も強くあります。

この話、ジャーナリズム論そのもので、『伝える』という作業の奥深さを感じさせてくれます。

皆さんと、そんなお話もできればと考えています。どうぞよろしく。